

行動計画・実績

環境安全活動計画

環境安全委員会では、前年度の行動計画の進捗状況や社会的な情勢などを考慮し、4月に開催される総会で単年度および中期的な活動計画を審議決定しています。2007年度は、地球温暖化対策、省資源・廃棄物対策、化学物質管理、労働安全衛生の4項目に専門部会を設定し、計画的に活動を推進しました。また、会員企業独自では解決しにくい課題についても、外部団体や専門家からの情報収集に努めるなど、環境安全委員会の課題を明確にし、その解決に努めてきました。環境安全委員会では、これらの活動を定期的に発行する情報誌や調査報告書あるいは技術情報集などにまとめ、情報提供することにより、会員企業の環境安全衛生活動を支援しています。

環境安全委員会では、以下の項目に数値目標を設定し、活動を推進しています。なお、2008年度以降の行動計画については、2008年度に実施する会員企業に対する行動計画のフォローアップの結果を分析した上で、設定していきたいと考えています。

一方、労働安全衛生については、労働安全衛生マネジメントシステムの構築状況、労働災害の発生状況、健康管理、メンタルヘルス、営業車両事故対策などへの会員企業の取り組み状況を調査し、会員企業に情報を提供するなどの活動を推進しています。

地球温暖化対策

2010年度（第一約束期間5か年の平均値）の製薬企業のCO₂排出量を1990年度レベル以下に抑制する。

※1997年度より、傘下団体・企業に自主行動計画フォローアップ参加を呼びかけ、活動を継続しています。京都議定書で排出量の削減が目標となっていることとあわせ、1990年度の排出量をベンチマークとしたCO₂の排出量削減を目標として設定しています。

省資源・廃棄物対策

- 最終処分量を2010年度までに20%まで削減する（1990年度基準）。
- 最終処分率を2010年度において5%以下にする。
- 廃棄物発生量を2010年度において1990年度比10%削減する。

※1998年度より、廃棄物最終処分量、再資源化量に数値目標を設定して廃棄物の削減対策を継続してきました。行動計画は順調に推移し、設定していた数値目標が達成された時点で新たな数値目標を設定する方式を採用し、現在に至っています。

化学物質管理

ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、クロロホルムの大気排出量を2003年度の排出量を基準として、2007年度までにそれぞれ20%削減する。

※1997年度に有害大気汚染物質の排出量削減自主管理計画を作成し、大気への排出削減に自主的に取り組んできました。省資源・廃棄物対策と同様に、数値目標が達成された時点で数値目標を見直すとともに、対象範囲を拡大する方式を採用しており、2007年度は第3期活動計画の最終年度に当たります。

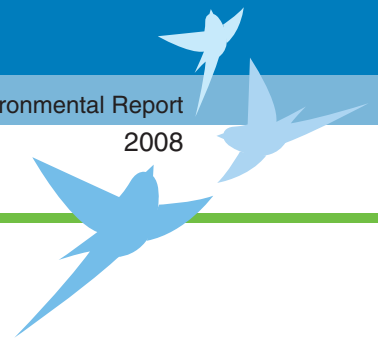
行動計画の進捗状況

環境安全委員会の活動は、地球温暖化対策、廃棄物の削減対策、有害大気汚染物質の排出量削減、安全衛生に関する管理システムの整備・活用など、各専門部会が単年度および中期的な活動計画を設定し、取り組んでいます。また、業界上部団体や国あるいは社会との連携強化については、企画会議が窓口となり、専門部会と連携し、情報提供や意見交換などに努めています。

地球温暖化対策では、行動計画に対する2007年度の進捗状況は目標値に対して34.9%オーバーしており、今後、目標達成に向け、取り組み強化を検討していきたいと考えています。一方、廃棄物削減対策については、最終処分量、最終処分率、廃棄物発生量のいずれについても行動計画を達成しており、数値目標達成に向けた会員企業の積極的な取り組み成果が着実に現れていると考えています。今後も、廃棄物の削減に

向け、取り組みを継続していきます。また、有害大気汚染物質の排出量削減については、ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、クロロホルムのいずれについても、2007年度を最終目標年度とした数値目標を達成しました。これらの結果から、当初の目的は十分に達成できたと判断し、製薬協としての有害大気汚染物質に関する自主行動計画はこれで完了し、今後は、会員会社ごとに自主的な削減の取り組みを継続していきます。

2008年度は京都議定書の第一約束期間の初年度に当たります。今後製薬協では、日本製薬団体連合会（日薬連）と連携し、数値目標達成に少しでも近づけるために、会員各社に対してさらに積極的な対応策を要請するとともに、省エネルギー技術に関する情報共有や技術研修会などを通じて、会員各社の取り組みを積極的に支援していきたいと考えています。



2007年度事業計画の達成状況概要

項目	2007年度事業計画	2007年度の活動・成果
環境安全マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理に関する情報公開 ● 環境・安全衛生に関する情報収集 ● 業界内外との協働・コミュニケーション ● 会員企業の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境報告書2007を発行 ● 技術研修会を開催、マテリアルフローコスト会計に関する情報収集 ● 日薬連、他の委員会との情報交換、協働 ● 製薬企業のCSR、地球温暖化対策に関するセミナー開催
地球温暖化対策	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2010年度（第一約束期間5か年の平均値）の製薬企業のCO₂排出量を1990年度レベル以下に抑制する。 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経団連環境自主行動計画フォローアップ ● 省エネ技術研修会開催 ● 省エネ技術事例集作成 ● 地球温暖化対策に関する情報調査 	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目標値に対して34.9%（61万トン）オーバー <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日薬連と共同でフォローアップ調査を実施 ● 第11回技術研修会を開催。参加約100名 ● 技術事例集を作成し、会員企業に配布 ● 情報交換、情報収集、見学会を実施
省資源・廃棄物対策	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最終処分量を2010年度までに20%まで削減する（1990年度基準）。 ● 最終処分率を2010年度において5%以下にする。 ● 廃棄物発生量を2010年度において1990年度比10%削減する。 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経団連環境自主行動計画フォローアップ ● 廃棄物削減、リサイクルに関する情報調査 ● 医療系一般廃棄物に関する情報調査 	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最終処分量：1990年度比で6.3%まで削減 ● 最終処分率：1.8% ● 廃棄物発生量：1990年度比で13%削減 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日薬連と共同でフォローアップ調査を実施 ● 技術情報の収集、見学会を実施 ● 日薬連と共同でMDIIに関する情報を調査、今後の取り組み検討
化学物質管理	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、クロロホルムの大気排出量を、2003年度の排出量を基準として、2007年度までにそれぞれ20%削減する。 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有害大気汚染物質自主管理計画のフォローアップ、PRTR、VOC調査 ● 化学プロセスの安全性研究・情報調査 	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2003年度比で、ジクロロメタン54%、1,2-ジクロロエタン98%、クロロホルム35%削減 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フォローアップ調査およびPRTR調査、VOCの実態調査を実施 ● 反応プロセスの危険性評価に関する研究、講演会、見学会を実施
労働安全衛生	<p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 労働安全衛生マネジメントシステムの普及状況・労働災害発生状況調査 ● 従業員の健康維持、増進のための対策調査 ● MRの営業車両事故状況とその対策調査 ● 技術研修会開催 ● 労働安全衛生法規制、技術情報調査 	<p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 労働安全衛生マネジメントシステムの構築状況、労働災害発生状況等の調査を実施 ● 健康診断、メンタルヘルス等の従業員の健康管理への取り組み状況調査を実施 ● 営業車の事故対策の状況、車両事故率が低い会社の事例調査を実施 ● 労働安全衛生に関する講演会を実施